

会 議 議 事 録

会 議 名	平成 29 年度 第 3 回 教育課程編成委員会	専門学校 東京工科自動車大学校 専門学校 東京工科自動車大学校世田谷校 専門学校 東京工科自動車大学校品川校
開催日時	平成 29 年 12 月 8 日 (金) 15:00～17:00	
会 場	(全体会) 東京テクニカルカレッジ 1 1 F 1104 教場 (1 級教育課程分科会) 東京テクニカルカレッジ 1 1 F 1101 教場 (2 級教育課程分科会) 東京テクニカルカレッジ 1 1 F 1104 教場	
参 加 者	委員 出席者	15 名 (出席者) ・佐藤 康夫 (全体会議長) ◇1 級教育課程分科会 ・松村道隆 (議長) ・甲斐 俊和 (3 号議員 品川 1 級自動車整備科) ・宮谷 真樹 (3 号議員 世田谷 1 級自動車エンジニア科) ・酒井 彦樹 (3 号議員 中野 エンジンメンテナンス科) ・山口 泰之 ・井上 真一 ・園田 幸祐 ◇2 級教育課程分科会 ・小林 完 (議長) ・竹尾 和也 (副議長) ・五十嵐 純二 (3 号議員 中野 自動車整備科) ・佐久間 三郎 (3 号議員 世田谷 自動車整備科) ・国分 秀貴 (いすゞ自動車首都圏株式会社) ・田村 智 (3 号議員 自動車整備科夜間) ・坂本 康将 (3 号議員 品川 自動車整備科) ・澁谷 健 (欠席者) ・斎藤 昭男 (3 号議員 : 中野 1 級自動車整備科) ・三橋 健一 (1 号議員) ・油井 文江 (2 号議員) ・飯島 寿朗 (3 号議員 中野 自動車整備科カーコンシェルジュコース)
	オブザーバー	
	事務局	1 人 ・開田 実

<p>配付資料</p> <p>全体会 会議録</p> <p>審議事項</p>	<p style="text-align: center;">全体会</p> <p>◇全体会配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度 委員名簿 A:会議次第・会議進行資料 (PP) B:平成 29 年度第 2 回教育課程編成委員会 議事録 (前回会議議事録) C: 東京工科グループ 科別 (5)・コース別 (2) ディプロマポリシー <p>出席者・配布資料の確認</p> <p>1. 開会挨拶 (全体会議長)</p> <p>議長より本会議開催に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回全体会議で予告した通り、本年度の策定課題であるディプロマポリシーが作成されたので、委員の方への報告 ・前回分科会会議の積み残し <p>以上の内容で、第 3 回会議開催の旨「時間を割いて頂いた」挨拶がなされた。</p> <p>2. 議事</p> <p>①前回会議議事録 (H29 年第 2 回教育課程編成委員会) の確認</p> <p>井上委員より前回議事録の読上げ・確認がなされた。</p> <p>⇒全員一致で承認</p> <p>②三つのポリシー策定に関する報告</p> <p>資料参照の元、事務局より以下の内容の報告がなされた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 高大接続実行プランにおける三つのポリシー (前回重複内容) 2) アドミッションポリシー作成報告 (前回重複内容) 3) ディプロマポリシー策定経緯 <ul style="list-style-type: none"> ・教員アンケート実施・・・卒業生仕上がり具合の抽出 ・各科長とのヒアリング・・・人材目標・重点科目の抽出 ・教務会・・・各科重点科目からシラバスの重点項目の抽出 4) ディプロマポリシー策定単位 <p>各科・コースの人材目標の違いから以下の科・コースの作成を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①1 級自動車整備科 (中野) ②1 級自動車整備科 (品川校) ③1 級自動車エンジニア科 ④自動車整備科 (夜間も含む) ⑤自動車整備科 2 輪コースハーレダビッドソン専科 ⑥自動車整備科メルセデス・ベンツコース
--	---

⑦エンジンメンテナンス科

各科のディプロマポリシーは、授業シート同様に10項目を重点科目シラバスより抽出した具体的な表現にした小山学園らしいものとた。

5) ディプロマポリシー報告・説明 (別途資料・・・参照)

・配布資料「1級自動車整備科DP」を基に山口委員より以下の説明がなされた。

ディプロマポリシー説明文・・・内容は全科同一であり、違いは「科名」「称号名」の違いである。人材目標は各科毎に違うため、独自に記載してある。中野1級自動車整備科は、メカニックを目指すスタンダードの科である。

①～⑩の項目に記載されているものが、ディプロマポリシーに該当する。1)～3)は、10項目を3つの大項目に分け、見やすくしたものである。

また、その大項目ごとに、ディプロマポリシーとして掲げる理由(必要性)を記載したポリシーシートとなった。

・配布資料「1級自動車エンジニア科」を基に澁谷委員より説明がなされた。

中野1級自動車整備科との違いは人材目標及びそれを特徴づける4)大項目の「開発技術」に記載されている4項目である。

・配布資料「1級自動車整備科(品川校)」を基に松村委員より説明がなされた。

違いは、人材目標及びそれを特徴づける4)大項目の「グローバル技術」に記載されている2項目である。

・配布資料 2級課程の「自動車整備科」「エンジンメンテナンス科」「自動車整備科2輪コース」「メルセデスベンツ」コースの2科2コースについては、事務局より説明がなされた。

「自動車整備科」は中野校、世田谷校、品川校の3校に設置された2級課程のスタンダードな科であり、カリキュラム及び人材目標は同様であるため、校舎が違っても1つとしている。

また、自動車整備科であっても特徴のある、2輪コースとメルセデス・ベンツコースは、企業提携により設置されている自動車整備科なので、大項目は同様であるが、科の人材目標及び項目に具体的なメーカー名や機器名が記載し、単独でポリシーを策定している。

エンジンメンテナンス科と自動車整備科の違いは、科の人材目標とその特徴づけとなる大項目4)性能向上である。

□質疑

→中野校1級科の⑤エンジン電気回路測定の項目は、大項目2)「検査整備」とし、品川校1級科の⑦同様な項目なのに、大項目3)「電子制御技術」としてあるのは、何故か。

⇒科目のボリュームが科毎に違うために配置が違っている。しかしながら、貴重なご意見として今後検討したい。

<p>1級分科会 配布資料 会議録</p>	<p>→1級課程は、2級課程の内容を含めてディプロマポリシーとするべきではないか。 ⇒学内でもその議論はあったが、卒業要件として全ての科を10項目と揃えた。</p> <p>→1級課程であれば、広報的に展開して、卒業時には5年先になる。その際には自動車技術も大きく変化をする。その際を見越したディプロマポリシーとした方が良いのではないか。</p> <p>⇒3つのポリシーは、作成したらそれで終わりではなく、今後もカリキュラム変更も含め、PDCAを回していく。次年度は、カリキュラポリシー策定に向けて学外委員の方へ多くのご協力を賜りたい。</p> <p>以上をもって議長より全体会閉会を宣した。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">1級教育課程分科会</p> <hr/> <p>前回会議でお願いした、教員技術研修の開催の可否について、社内で検討した結果をご報告いただいた。</p> <p>ネッツトヨタ様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き協力していきたい。夏季期間は他の研修でスケジュール確保が困難であるが、世田谷校で12月に実施しているトラブルシュートの研修を実施している。 そちらに教員も参加していただきたい。 <p>トヨタカローラ様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月に日程を調整して行うことが可能。新機構・エーミング調整について、整備主任者講習のテキスト等を使用して実施。人数、日数は要望に応じて調整可能である。 <p>横浜トヨペット様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程は限られるが、実施は可能。燃料電池やPHVに関する内容を予定している。 <p>井上科長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行車の整備についても最新の情報が欲しい。 <p>園田科長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な現場で行われている故障診断について勉強したい。 <p>松村リーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の研修は新技術に絞って実施したい。
-------------------------------	---

2 級分科会

2 級教育課程分科会

配布資料

平成 30 年度教育課程編成委員会「二級課程分科会」について

会議録

① プロジェクトセミナーの評価基準改善について

本件については前回会議にて一応の議論を終えた。今後学校は委員より挙げた意見をもとに改善に取り組み、適宜経過報告を行ってゆく事で委員の承認を得た

② 二級課程の新技术教育推進について

前回に続き、二級課程向け新技术教育科目の構築に向けた議論を進めた。

1) 科目内容、レベルについて

- ・実施時期、対象学年に限定はあるか？
→特にないが1年生、3年生が計画を組みやすい
- ・1年生向けでは最新技術の紹介、概要説明程度のレベルが適切と思われるが、そういった内容では実施できないのか？
→(本来の職業実践専門課程としての)企業連携実習・演習からは外れるが、最新技術との出会いの場面は必要であり、是非実施していただきたい
- ・授業の実施単位は？
→基本は学科単位、最小単位はクラスでお願いしたい。
- ・これまでに行なわれた連携実習の受講学生からフィードバックが欲しい
→実習後のアンケートを検討する

2) その他

- ・まず教員が受講する必要があるのでは？（企業に居ても現場を離れた途端に技術の進歩に取り残される。）

以上で終了時刻となったため、議長より委員に今回意見に挙げた実施可能なテーマと概要、提供可能な資料を学校にお送りいただき、学校はその内容を整理し会議資料としてまとめて次回分科会で議論を深める事で委員の了解を得た。

[会議風景]



